

上井草駅周辺地区（下石神井四丁目） まちづくり提言書

平成25年3月

上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり協議会

はじめに

平成20年6月に上井草駅を含む西武新宿線（井荻～東伏見駅付近）が東京都の連続立体交差事業の事業候補区間に選定された事を契機とし、当地区では、平成23年5月に「上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり協議会（以下、「協議会」という）」が設立されました。

同様に杉並区側でも、ほぼ同時期の平成23年9月に「上井草駅周辺地区まちづくり協議会（以下、「杉並協議会」という）」も設立され、協議会では連携を図りながら、杉並区内である上井草駅や駅周辺の問題にも、一体となって取り組んでまいりました。

西武新宿線上井草駅周辺地区は、練馬区都市計画マスタープランにおいても生活拠点に位置付けられております。交通利便性、商業サービスの向上、にぎわいの回復などを図っていくこととされています。

しかしながら、当地区には、様々な問題があります。具体的には、駅や駅周辺のまちづくり、道路・交通問題、みどり・水・地域の資源、商業環境とくらし（アメニティ）、災害に強いまちづくりなど、これらの問題は多岐にわたるのが実情です。

更に、まちの総合的な発展を阻害している当地区固有の問題として、

①跨線橋もない開かずの踏切で、まちが分断されている。

②上井草駅を中心として発展してきているまちが、練馬・杉並の区境で分断され、ひとつのまちが二つの異なる行政管理下にある。

これらの2点が存在します。

そこで、協議会では約2年間にわたり、上記の問題を中心に、地区のまちづくりの在り方を調査・研究・検討してまいりました。合わせて、当地区の住民目線でのご要望やご意見も、アンケート等を通じて極力生かすべく検討を重ねてまいりました。

これらを整理、調査、検討して、対応出来るもの、対応出来るが時間が掛かるもの、問題の解決にはかなり実現が困難なもの、さらには練馬区と杉並区の両区が一体となって解決に向け努力していくべきものなど、諸問題を整理して地域の在り方を示しています。

このたび、協議会においては、これまでの活動の集大成として、「まちづくり提言書」をまとめました。提言書に書かれたテーマ別のまちづくり構想は、基本的には協議会から練馬区に求める内容となっていますが、中には杉並区や東京都等の関係機関、あるいは西武鉄道等の関係事業者に求めているものもあります。

今後、練馬区におかれましては、まちづくり提言書の内容を最大限に活用してまちづくり構想を策定するとともに関係機関等への働きかけ等を行って、当地区のまちづくりを推進して戴きますよう、切にお願い申し上げます。

平成25年3月

上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり協議会

【目次】

I. 上井草駅周辺地区(下石神井四丁目)について

1. 上井草駅周辺地区(下石神井四丁目)とは	1
2. まちづくり協議会とは	2
(1) 協議会設立の経緯	2
(2) 協議会の活動	2

II. まちづくりに関する提案

1. (アンケートなどから描き出された) 地区住民が理想とするまち	3
2. まちの将来像	4
3. テーマ別のまちづくり構想	4
(1) 駅や駅周辺のまちづくり	5
(2) 道路・交通	8
(3) みどり・水・地域の資源	12
(4) 商業環境と暮らし(アメニティ)	15
(5) 災害に強いまちづくり	18
4. 継続して取り組む課題	21
5. まちづくりの推進	21
6. 今後のまちづくりの進め方	22

III. まちづくり協議会の活動経緯

1. まちづくり協議会の活動経緯	23
------------------	----

I. 上井草駅周辺地区(下石神井四丁目)について

1. 上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）とは

上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）は区内の中央西寄りの南部に位置し、杉並区界に接しており、面積約24ha、人口 3,179人、世帯数 1,710世帯です。（平成25年2月1日現在）

地区の南側に位置する西武新宿線上井草駅の1日の乗降客数は、平成23年度の平均値で19,944人／日（※）となっています。（※：西武鉄道公表データによる）

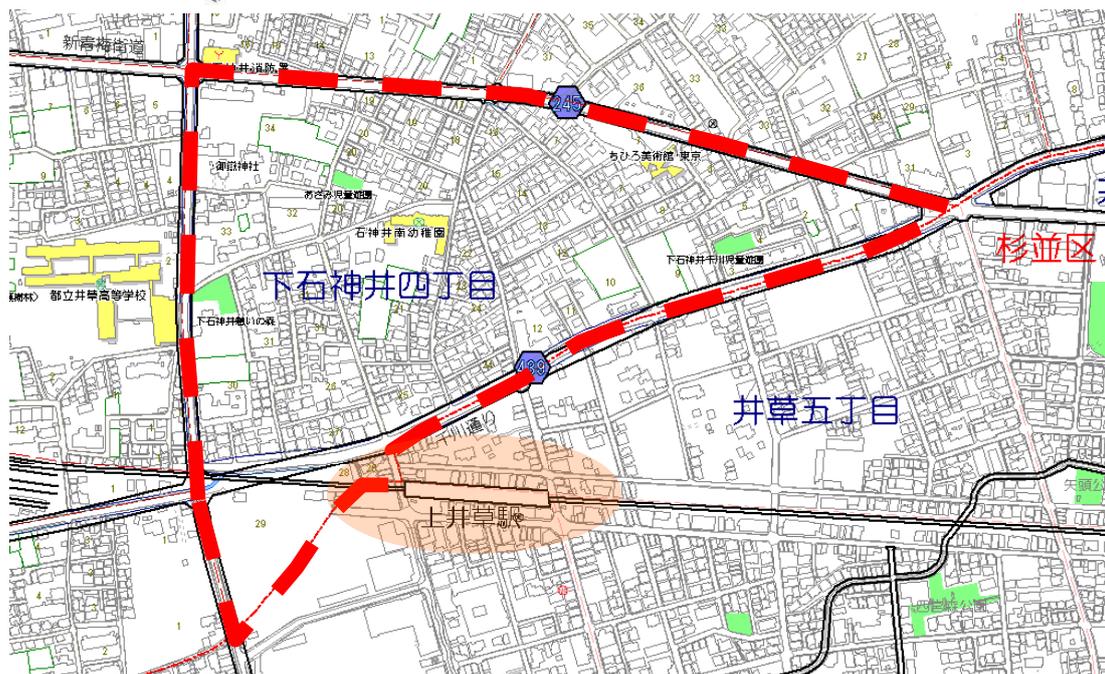


図 上井草駅周辺地区の区内での位置と範囲

2. まちづくり協議会とは

(1) 協議会設立の経緯

西武新宿線上井草駅は、練馬区都市計画マスタープランにおいて生活拠点に位置付けられ、交通利便性や商業サービスの向上、にぎわいの回復などを図っていくこととされています。しかしながら、踏切をはじめとする交通環境、商業環境、住宅環境、防災面などにおいて様々な課題を抱えています。

このような中で、平成20年6月に、上井草駅を含む西武新宿線（井荻～東伏見駅付近）が連続立体交差事業の事業候補区間に選定されました。この状況を踏まえ、練馬区は西武新宿線の立体化に向けた取り組みを進めるとともに、当地区のまちづくりの検討を始め、地域へまちづくりの呼びかけを行いました。

これを受けて、町会や商店街、公募の方々からなる32名で平成23年5月に協議会を設立し、地区のまちづくりを検討してきました。また、協議会では、平成23年9月に設立された杉並協議会とも連携しながら、まちづくりに取り組んできました。

(2) 協議会の活動

協議会では、これまで毎月定例の協議会および運営委員会を開催し、地区の現状把握、問題点や課題の抽出、まちの将来像、今後のまちづくりに向けての方向性や具体的な取り組み等について話し合い検討を行ってきました。また、当地区内へのアンケート調査結果による地域住民の意向把握、「まち歩き」によるまちの様子の確認、鉄道立体化と合わせたまちづくり事例として石神井公園駅周辺地区の見学会等も実施してきました。当地区のまちづくりに関連する計画や法令等についても調査・研究を行い検討の背景としています。

上井草駅周辺のまちづくりについては、杉並協議会と連携を深めて利用者の立場から検討しています。石神井公園駅周辺地区の見学会開催にあたっては、杉並協議会の皆様にも参加していただき、活発な意見交換を行いました。また、平成24年10月から12月の杉並協議会に参加させていただき「駅や駅周辺のまちづくり」などに関して一緒に検討を進めてきました。

Ⅱ. まちづくりに関する提案

1. (アンケートなどから描き出された) 地区住民が理想とするまち

私たちの望むまちは、静かな住宅地として、どこにでもあるような普通のまちです。しかしながら（最寄駅である）上井草駅には、東京23区内の他の駅で当たり前に見られるような「普通」の駅や駅周辺の環境がありません。つまり、鉄道立体化以前の問題として、まずは以下のような「普通の」駅や駅周辺とすることが必要と考えます。

- ・ 駅近くに中規模のスーパーマーケットがあり、通勤の帰途に買い物ができる
- ・ 駅前広場が整備され、バスやタクシー、歩行者、自転車が混乱なく、安全に往来できる
- ・ 都市銀行の支店、書店や喫茶店があり、特徴のある個人商店などが活気ある商店街を構成している
- ・ 開かずの踏切による南北の地域分断もなく、駅構内の上下線ホーム間を自由に行き来できる

このような駅や駅周辺環境の実現が、まちづくりのスタートとなります。

また、千川通りと井草高校通りの交差点が、踏切とクランク状に交差していることによる本地区固有の交通課題の改善も地域の声として上がっています。

上記に加え、「より暮らしやすいまち」として住民が望むものは、次のようになります。

- ・ 交通弱者も、安心して生活道路を往来できるまち
- ・ 地区周辺の幹線道路が、渋滞のないように交差点が整備されているまち
- ・ 地区の財産であった千川上水を復活させ、道路の街路樹も整備し、名実ともに水とみどりのまち
- ・ 水とみどりをちひろ美術館・東京と並ぶ地区のシンボルとし、歴史や文化を感じさせる閑静な住宅街のまち
- ・ 育児、介護をしながらも安心して仕事を続けられるよう、公的福祉施設の充実したまち
- ・ 大地震などの災害にも強い、安心して暮らせるまち

これらは、アンケート調査結果と協議会員の声をもとにした大略の理想のまちの姿です。

2. まちの将来像

上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）の将来像は、以下のように設定します。

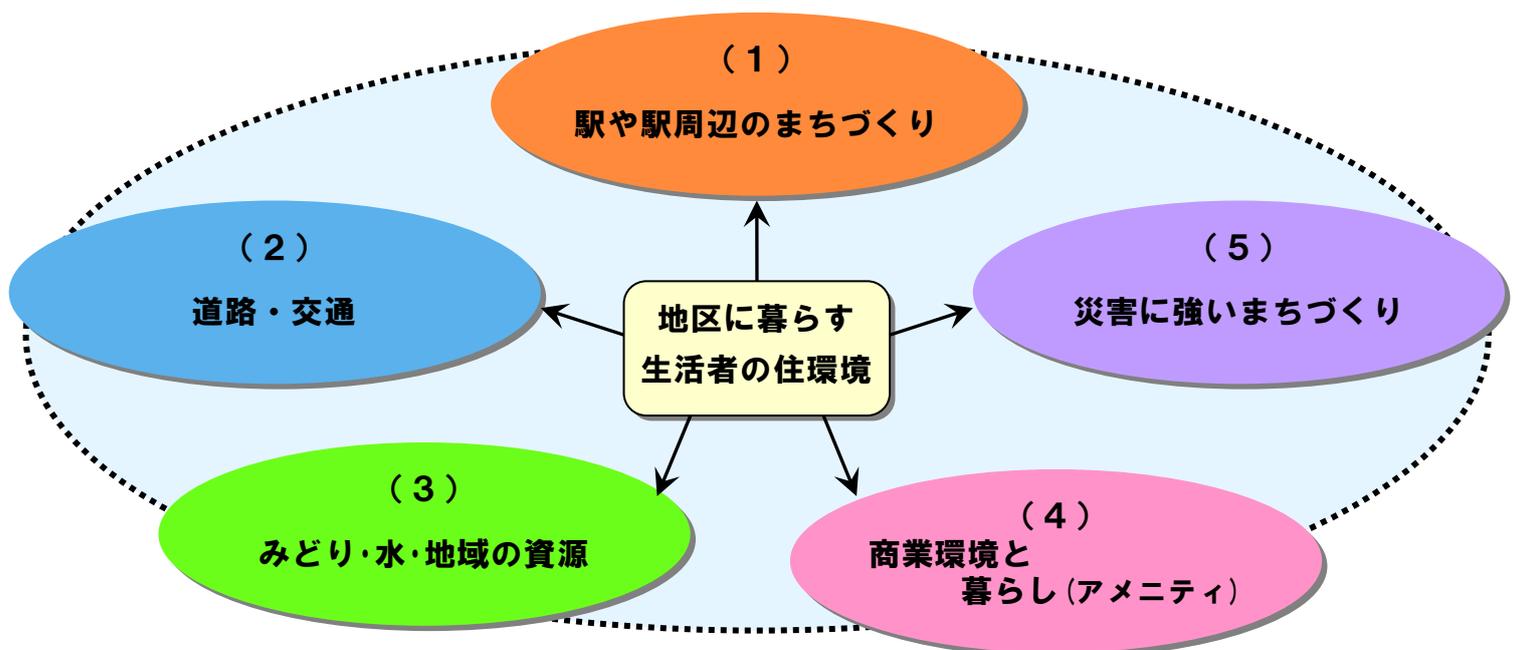
武蔵野の面影を残す豊かで美しい緑に囲まれ、
住宅街としての住環境が整備された、
買物や通勤、子育てにも便利な、人に優しく暮らしやすいまち

3. テーマ別のまちづくり構想

【検討した5つのテーマ】

協議会では、地区に暮らす生活者の住環境の視点から、以下の5つのテーマで検討を行いました。

- (1) 駅や駅周辺のまちづくり
- (2) 道路・交通
- (3) みどり・水・地域の資源
- (4) 商業環境と暮らし（アメニティ）
- (5) 災害に強いまちづくり



(1) 駅や駅周辺のまちづくり（利用者の立場からの提言）

【地区の課題】

- (1) 上井草駅は上下線ホームの横断施設がないうえに、開かずの踏切に分断されているため鉄道利用が著しく不便である。このため、踏切のくぐり抜けによる死亡事故も発生している。
- (2) 駅前広場が整備されていないため、バスやタクシーへの乗り換えが不便であり、かつ歩行者が憩えるスペースもない。
- (3) 駅周辺の道路や踏切内の歩行空間が不十分で、歩行者や車いす利用者が通行しにくい。また、バス停までの点字誘導ブロックが整備されておらずバリアフリー対策が遅れている。
- (4) 自転車利用の気運の高まりにあわせた利便性の高い駐輪場がなく、レンタサイクルシステムも導入されていない。
- (5) 駅施設等は誰にも使いやすいものであるとともに、周辺の街並みに調和したものであることが求められている。

【維持・改善の方針（○数字番号）と具体的な取り組みなど（⇒）】

①緊急的な安全対策と即効的な利便性向上として、上下線ホームの横断施設の整備や踏切システムの改良等を求める。

⇒駅舎および踏切の改善を、杉並区と練馬区が連携して西武鉄道に働きかけるよう求める。

②鉄道による南北分断等を総合的に解消するため、西武新宿線連続立体交差事業の早期実施を求める。

⇒西武新宿線の連続立体交差事業（井荻～東伏見駅付近）の早期事業化を東京都へ働きかけるよう求める。

⇒周辺施設の整備の際は、誰もが快適に移動出来ることに配慮するよう杉並区に働きかけるよう求める。

③バスやタクシーに乗換えやすい駅前空間の整備と駅周辺の面的なバリアフリー化を進めて、誰もが快適に移動できるよう求める。

⇒誰もが使いやすい駅前空間の整備を杉並区に働きかけるよう求める。

④駅周辺の整備にあわせて利用しやすい駐輪場を整備し、練馬区と杉並区の拠点地区間で乗降できるレンタサイクルシステム導入の検討を求める。

⇒駅付近での駐輪場の整備について、杉並区と西武鉄道に働きかけるよう求める。

- ⇒偏りのない利用サービス提供を駐輪場設置者に働きかけるよう求める。
- ⇒使いやすいレンタサイクルシステム導入と、偏りのない利用サービス提供を進め、杉並区にも働きかけるよう求める。

⑤ 駅施設等の整備の際には、誰もが快適に利用できる施設とし、周囲の街並みと調和したデザインとするよう地域住民や利用者の意見を聴くことを求める。

- ⇒駅舎等を整備する際には、誰もが快適に利用できる施設とすることに配慮するよう、杉並区と練馬区が連携して西武鉄道へ働きかけるよう求める。
- ⇒駅舎等のデザインは、地域住民や利用者の意見を聴きながらまとめるよう、杉並区と練馬区が連携して西武鉄道へ働きかけるよう求める。

※都市計画道路補助132号線の名称について

都市計画道路補助132号線は練馬区、杉並区、東京都ともに通称名が定まっていますが、本提案書の中に限って「井草高校通り」と表記しています。



【上井草駅前踏切】



【上井草駅南側のバス停付近】



【小田急線千歳船橋駅前の歩行者広場整備例】



図 『駅や駅周辺のまちづくり』方針図

(2) 道路・交通

【地区の課題】

- (1) 千川通りと井草高校通りのクランク交差点は危険かつ交通ルール等がわかりにくいなど、当地区特有の交通問題がある。
- (2) 幅員4m未満の道路や隅切りの確保されていない交差点が多く、安全な通行や見通しの確保、緊急車両の通行に課題があり、また、車いす利用者や高齢者が安心して通行できない。
- (3) 周辺の道路事情により現状でも地区内への通過交通の流入が多く、大型店舗等の出店による新たな交通問題の誘発が懸念されている。
- (4) 将来の鉄道立体化に伴う千川通りの拡幅整備や、踏切解消による交通量の増加等、新たな交通問題発生への懸念がある。

【維持・改善の方針（○数字番号）と具体的な取り組みなど（⇒）】

- ①井草高校通りと千川通りのクランク交差点では、交差点改良されるまでの間、特に朝夕の渋滞時を中心に適切な交通整理・誘導が望まれる。
⇒違反取り締まり以上に、適切な交通整理・誘導を警察署に働きかけるよう求める。
- ②狭い道路は建替え等に合わせて幅員4m以上に改善し、隅切り整備にも協力して見通しを確保する。また、道路内に残る段差や側溝・縁石等を無くして、誰もが移動しやすい道路とする。
⇒地区計画など街並みのルールを定め、道路として（L形側溝や縁石を残さない）幅員4mや道路形態の隅切り（縁石を残さない）を確保する。
⇒狭い道路拡幅整備事業（練馬区助成制度）を活用する。
⇒建築後の完了検査を適切に行うよう建築主の法令遵守を促すとともに、行政指導の強化を求める。
⇒隅切りの整備に合わせて、電柱などの影響を確認して適切な対応を電力・通信事業者に働きかけるよう求める。
- ③主要生活道路は、建替え時に沿道住民の協力のもと幅員6mを原則とした拡幅を目指し、歩行空間（カラー表示等）を創出する。曲がれない鋭角な交差点も同様に改善する。これにより、緊急車両の通行や消防活動を可能にして地区の防災機能を高める。
⇒開発行為に伴う中心からの3m後退や、地区計画制度の地区施設に定めて、助成制度を活用して実現を図る。

④私道の公道化促進を、地区をあげて取り組んでいく。

⇒沿道敷地と私道の地権者の合意形成を図り、公共性の高い私道の公道化を進めて道路整備費等を行政が負担できる制度を活用する。

⑤住宅地の道路における無電柱化の実現を目指す。

⇒地上器設置場所の確保や応分な費用負担などについて、住民合意をもとに無電柱化を検討するよう求める。

⑥東京外かく環状道路や地区周辺の幹線道路等の整備を進めるとともに、地区外周の都市計画道路の交差点では右折レーン設置等の改良により、渋滞を解消して地区内への通過交通の流入を抑制するよう求める。

⇒都市計画道路等について、施行者（国、東京都）に早期の整備を働きかけるよう求める。

⇒千川通りと井草高校通りの交差点では、現道内（歩道は狭くなる）または拡幅等（用地買収）により、右折しやすい交差点への改良を東京都に働きかけるよう求める。

⇒新青梅街道と井草高校通りの交差点では、現道内（歩道は狭くなる）または拡幅等（用地買収）により、右折しやすい交差点への改良を東京都に働きかけるよう求める。

⇒道路整備に際し、丁寧な説明と対応を東京都に働きかけるよう求める。

⇒運転者マナーの向上に努めるとともに、警察署へ啓発の取り組みを働きかけるよう求める。

⇒都市計画道路の低騒音舗装の敷設、植樹帯の設置や樹種選定等について、住民の参加と自主管理を東京都に働きかけるよう求める。

⑦主要生活道路や特に通過交通の流入が多い路線では、自動車利用も考慮しながら広く周辺住民の協力を求めて交通規制等を検討する。

⇒沿道居住者の当該道路の利用実態や意向、迂回路等を確認したうえで、交通管理者と協議する。

⑧鉄道立体化に伴う幹線道路の整備や交差点の改良では、交通量等交通環境とその効果や影響について調査を行い、地域への十分な説明を行うとともに適切な環境対策を実施するよう求める。

⇒連続立体交差事業とそれに伴う幹線道路整備等の事業にあたっては、交通量等交通環境やその効果と影響についての調査と十分な説明を東京都に働きかけるよう求める。

⑨地区内および周辺における大型店舗出店の影響を検討する。

⇒適切な交通誘導等の徹底と、必要に応じた交通規制などの対策を出店事業者と警察署に働きかけるよう求める。

⑩バスルートの見直しやダイヤの延長などにより、バス利用の利便性向上を図るよう求める。

⇒石神井荻窪線（井草通り止まり）の回送ルート変更や、同線（荻窪行）の運行ダイヤ変更をバス事業者に働きかけるよう求める。

⇒ルートおよびダイヤ変更ができない場合は、新青梅街道のちひろ美術館・東京前付近にバス停の新設を働きかけるよう求める。



【西武線踏切とクランク交差点】



【渋滞する井草高校通り】



【渋滞を避けて地区内を通行する車両】

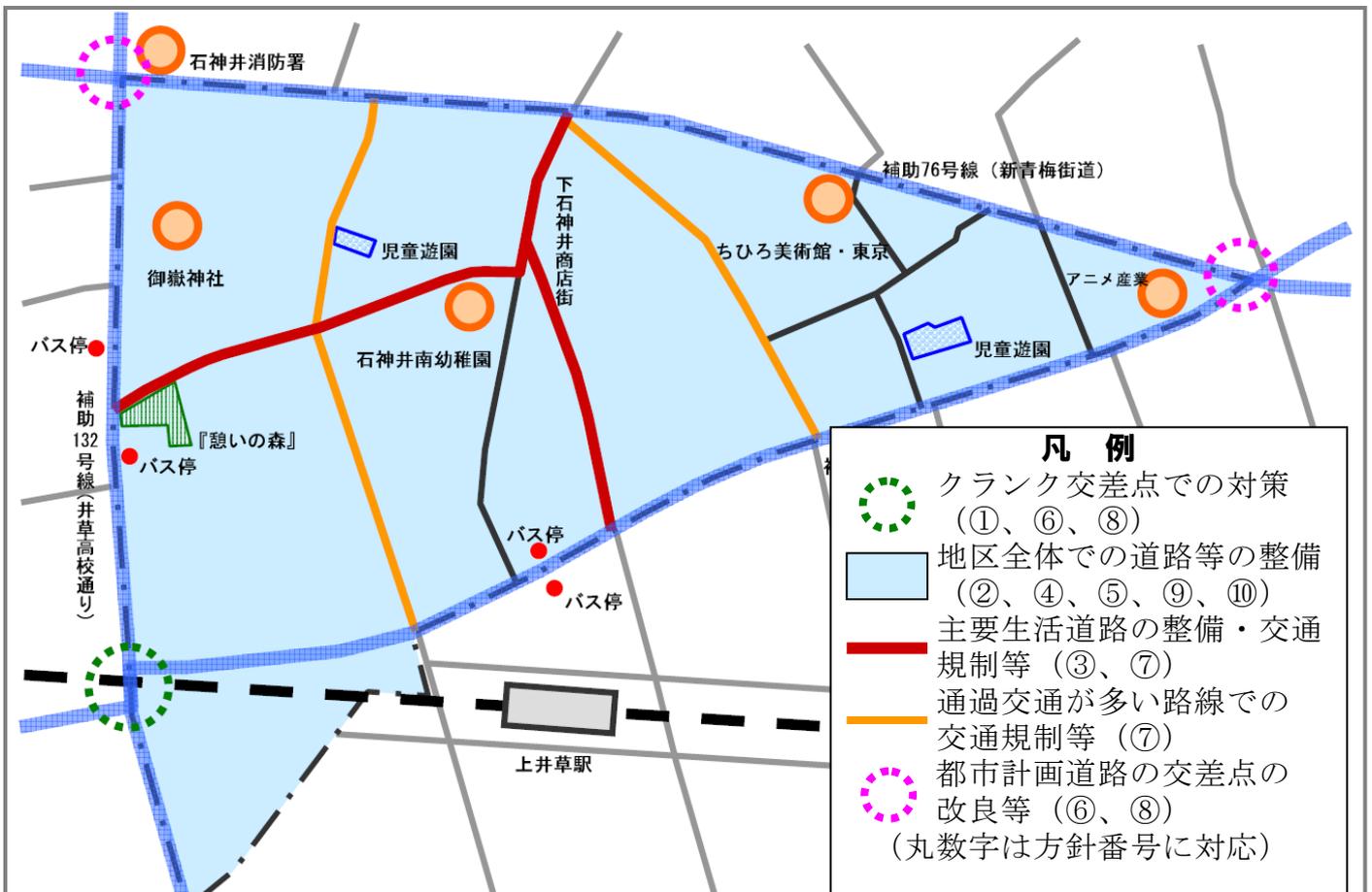


図 『道路・交通』 方針図

(3) みどり・水・地域の資源

【地区の課題】

- (1) 地区内には公共の公園・緑地等が少ない。
- (2) 減少しつつある敷地内のみどりを増やし、育てることが必要である。
- (3) 千川通り等地区周辺の幹線道路では、みどりを充実させることが望まれている。
- (4) かつてこの地区を流れていた千川上水や、ちひろ美術館・東京、アニメ産業、御嶽神社、石神井南幼稚園等、地区の財産を活用したまちづくりが望まれている。

【維持・改善の方針（○数字番号）と具体的な取り組みなど（⇒）】

①地区内のまとまった用地を取得して公園・緑地とし、豊かなみどりを創出・育成するよう求める。

- ⇒地区計画の策定に合わせて、土地所有者の協力を得たうえで「地区施設（公園・緑地）」として定め、将来的にまとまったみどり空間の創出を図るよう求める。
- ⇒新たに公園・広場等を整備する場合には、樹種選定などに関して地元の意見を反映させるよう求める。
- ⇒地区計画制度の「土地利用の方針」において既存のみどりの保全および新たな緑の創出を方針として定めるよう求め、みどりの保全の気運を醸成する。
- ⇒生産緑地の指定解除や憩いの森の借用期間更新等の機会を捉え、公共施設としての位置づけを目指すよう求める。

②屋上緑化や壁面緑化、ブロック塀等を生垣や緑化フェンスにするよう努めて、積極的に敷地内の緑化を進めていく。

- ⇒地区計画制度において「緑化率」を定め、敷地内のみどりを保全・創出する。
- ⇒「みどりの街並みづくり助成制度」を活用する。
- ⇒地区計画制度の「垣またはさくの構造の制限」において生け垣または緑化フェンスを設けるルールを定め、今後の建替え等にあわせて接道部緑化を実現させる。

③環境対策として、千川通りの豊かなみどり（街路樹や植栽帯）の適切な維持・管理やさらなる充実とともに、ゴミが捨てられにくい植栽帯の幅や位置、樹種とその統一について、地域住民の意向も踏まえて再検討するよう求める。

- ⇒都市計画道路の改修・整備の際には、地域住民の協力（※）を前提に、植樹帯の設置や樹種選定の住民参加を東京都に働きかけるよう求める。
- ⇒杉並区の住民および杉並区・練馬区とも連携して取り組み、地域として一体性

のある千川通り沿道のみどりを創出する。

④井草高校通りおよび新青梅街道は、街路樹等の道路内緑化が乏しいため、今後の道路整備等にあわせて緑化を充実させるよう求める。

⇒都市計画道路の改修・整備の際には、地域住民の協力（※）を前提に、植樹帯の設置や樹種選定の住民参加を東京都に働きかけるよう求める。

⑤かつての千川上水を記憶にとどめるような「碑」や、「流れ」をイメージできるような施設の整備を求める。

⇒千川通りの改修等に合わせて、「碑」等の整備を東京都に働きかけるよう求める。

⇒整備にあたっては、ちひろ美術館・東京やアニメ産業等地域の資源を活用しながらデザインに反映することや、それらの団体の監修協力を依頼すること等もあわせて検討するよう求める。

⇒千川通りの改修等に合わせて、歩道部分に千川上水の「流れ」をイメージできるような修景舗装などの整備を東京都へ働きかけるよう求める。

⑥公園等を活用した「水」に触れ合える施設等を整備し、住民の協力とともに地区のシンボルとするよう求める。

⇒公園等の新設・改修に合わせて、人工的なせせらぎ等の整備や桜の植樹を求める。

⇒水は災害時に備えて井戸を掘り、ポンプアップして循環、またはミニ防災井戸として手動ポンプを設置して流せるよう求める。

⇒井戸は、地区住民で協力して管理できるような仕組みを作る。

⑦地区内のみどり、公園、歴史資源、産業等の拠点・資源等を連携させた地域の活性化を図る。あわせてこれらの地域資源の知名度の維持・向上・PRにも努める。

⇒拠点・資源等を経由する案内表示の設置や、まちづくりマップ等を作成して地区の活性化を図る。

※「地域住民の協力」

⇒周辺住民や自治会の有志等による植樹帯回りの掃除、水やり、草取り等の作業を想定。



【あざみ児童遊園】



【下石神井憩いの森】



【地区内の生産緑地】



図 『みどり・水・地域の資源』方針図

(4) 商業環境と暮らし（アメニティ）

【地区の課題】

- (1) 地元や駅前で必要なものが揃わない、必要なサービスが受けられない。
- (2) 買物空間の不足や交通事情のため、地域内で安心して買い物やサービスが受けられない。
- (3) 少子化・高齢化が進む中、地域内で子育て世代や高齢世代への十分なサービスが提供されていない。
- (4) 練馬区と杉並区の区境に位置しており、地域内に公共のサービスが不足している。

【維持・改善の方針（○数字番号）と具体的な取り組みなど（⇒）】

①地域の資源を活用したにぎわいのあるまちづくりを進め、地域を活性化する。

- ⇒ちひろ美術館・東京と商店街を結ぶ歩行ルート of 環境整備を行う。
- ⇒ちひろ美術館・東京やアニメ産業と連携したPRを行い、ターゲットを明らかにして、来街意欲をかき立てる等の方策を検討する。
- ⇒地域資源（店舗、地域資源、AED、避難場所や防災施設等）を紹介するマップを作成して、広くPRに努める。

②安心してゆっくりと買い物ができる、商店街の空間をつくる。

- ⇒商店街の街並みについて検討する。
- ⇒店舗前の買い物・駐輪スペースを確保する。
- ⇒商店街通りの壁面のセットバックを検討する。

③周辺住民の合意も得て、車の走らない安全で安心な商店街の交通環境をつくる。

- ⇒商店街通りの自動車通行止めによる歩行者天国の実施について検討する。
- ⇒幼稚園への登園時間・午後のショッピングタイムの交通規制について検討する。
- ⇒歩行者優先の道路として一方通行化して、ゆとりある買い物空間を確保する。
- ⇒外環などの幹線道路整備の推進による商店街通り交通量の低減を図るよう求める。

④商店街のユニバーサルデザイン化（※）を進め、誰もが安心して買い物ができる環境をつくる。

- ⇒道路の段差解消によるバリアフリー化を推進するよう求める。
- ⇒店舗のバリアフリー化を推進する。

⑤障害者用トイレなどの利便施設を増やして、誰もが利用しやすい商店街を目指す。

⇒車いす利用者や商店街利用者を支援する利便施設（千川通りを利用した駐車場整備等）を導入する。

⇒車いす利用者や商店街利用者を支援する利便施設（バリアフリースイール）を増設する。

⑥駅周辺に託児所や老人福祉施設を整備・充実させるよう求める。

⇒託児所や老人福祉施設等の整備について練馬区または杉並区に求めるとともに、民間による施設整備を誘導できるよう、地域の活性化を図っていく。

⑦地域住民の交流施設等、地域の人々の暮らしを支える施設（公園、図書館、スポーツ施設など）の利用や行政サービス授受など生活利便性上の不利益を解消するよう求める。

⇒地域の人々の暮らしを支える施設の利用や行政サービス提供において偏りが生じないように練馬区および杉並区に求める（例：行政関係書類発行機を設置するなど）。

※ユニバーサルデザイン：年齢、性別、言語、個人の能力等にかかわらず、はじめからできるだけ多くの人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方



【下石神井商店街（しもしゃく祭りの風景・写真は下石神井商店街振興組合提供）】



図 『商業環境と暮らし(アメニティ)』方針図

(5) 災害に強いまちづくり

【地区の課題】

- (1) ブロック塀や構造物、旧耐震基準時に建てられた建物が存在しており、震災時に倒壊の恐れがある。
- (2) 災害時の飲料水や生活水の確保に不安がある。
- (3) 災害時対応トイレの確保に不安があるうえ、地区周辺の避難場所、防災関連施設の位置等が認識されていない。
- (4) 災害時に延焼危険性の高い建て詰まった街並みが存在する。

【維持・改善の方針（○数字番号）と具体的な取り組みなど（⇒）】

- ① **鉄道立体化にあわせた整備等の際に千川通りを緊急輸送道路として位置づけ、沿道建物の耐震化を促進する。**
 - ⇒千川通りの緊急輸送道路としての位置づけや井草高校通りの特定緊急輸送道路への格上げについて関係機関に働きかけるよう求める。
 - ⇒練馬区耐震改修等助成制度を活用し、耐震化の意識の醸成と耐震化の促進を図る。
- ② **道路に沿ったブロック塀等を、生垣や緑化フェンスにして震災時の倒壊を防止する。**
 - ⇒地区計画制度の「垣またはさくの構造の制限」において生け垣または緑化フェンスを設けるルールを定め、今後の建替え等にあわせて接道部緑化を実現させる。
 - ⇒地区計画を定める際、許容するブロック塀の高さについても検討する。
- ③ **住宅地における道路においても無電柱化の実現に努め、災害に強いまちを目指す。**
 - ⇒地上器設置場所の確保や応分な費用負担などについて、住民合意をもとに無電柱化を検討するよう求める。
- ④ **飲料水として地区内の公園等に防災井戸等設置の検討を求めるとともに、生活用水としてミニ防災井戸（※）の指定を地区で推進していく。**
 - ⇒消防署等の災害時に活用できる場所において、防災井戸の設置検討を求める。
 - ⇒地区内の既存井戸のミニ防災井戸の指定を地元の協力のもと推進する。

⑤防火貯水槽の設置には、地区で協力して整備する。

⇒公園等での防火貯水槽の設置を検討するとともに集合住宅建設にあわせた防火貯水槽設置を促すよう求める。

⑥地区内に災害時対応トイレを確保するとともに、防災関連施設や設備の充実・適正配置を図りつつ日頃から防災意識を高めて情報を収集して備えておく。

⇒公園等での常設トイレや災害時対応のトイレの整備について検討するよう求める。

⇒災害時のトイレ使用の提供について、企業や事業所等に要請する。

⇒災害時の避難場所、防災施設のマップを作成する。

⇒避難場所や避難路に関する情報をよりわかりやすいものにする工夫をするよう求める。

⑦「自助」、「共助」、「公助」による災害対策を推進し、地区の防災力を高める。

⇒各家庭内での防災意識の向上と災害時への備えを進める。

⇒地元団体のコミュニティ等を活用して周知を図る。

⇒地域の協力体制構築のため、地元のイベントや防災訓練へ積極的に参加し、地域コミュニティの醸成に努める。

⑧住環境や防災面に影響するような敷地の細分化を防止する一方で、若い世代や子育て世代が移り住みやすい価格帯の住宅や集合住宅などを増やし地域の活性化を図る。

⇒地区計画制度の「敷地面積の最低限度」を定め、一定規模以下への細分化を抑制するとともに、良好な街並みを形成する開発を誘導する。

⇒避難場所や避難路に関する情報をよりわかりやすいものにする工夫を求める。

※ミニ防災井戸：各家庭で所有している井戸で、区と災害時の使用協定を結んでいる深さ約10m以内の浅い井戸。生活用水、消火用水としては使用可能であるが、飲料水としては使用できない。



【阪神・淡路大震災での例】



【区内の生垣化の例】



【ミニ防災井戸】



図 『災害に強いまちづくり』方針図

4. 継続して取り組む課題

まちづくりに関する提言は前節までにまとめましたが、さらに特筆すべき点として、当地区では上記の諸問題に加え、練馬区・杉並区の行政の境があるという固有の問題があります。たとえば、杉並区内にある上井草駅や駅周辺の事に、他区である練馬区民が提言しても受け皿が無く、練馬区民が上井草駅周辺に公共施設の新設を要望しても練馬区の施設整備は杉並区内へ越境した対応は不可能であるということです。

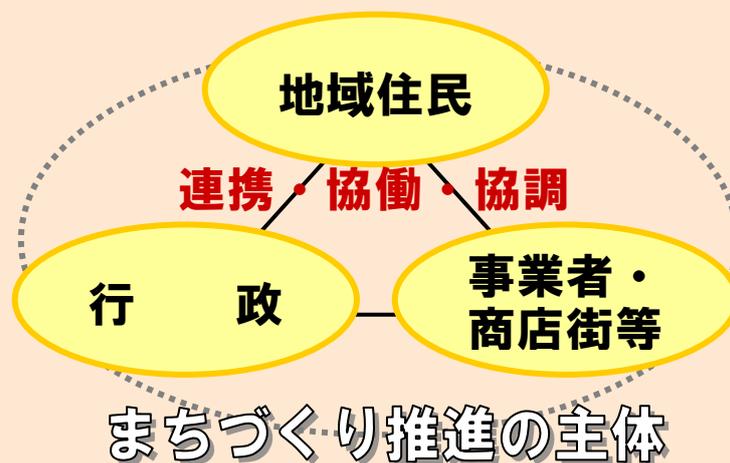
諸問題を研究・検討すればするほど、この「行政の境」の壁の存在をあらためて浮き彫りにされた感じです。これらは本書には含みませんが、今後も継続して取り組むべき課題として記します。

5. まちづくりの推進

上井草駅周辺地区のまちづくりを推進するためには、地域住民、商店街、事業者、行政などが協働で取り組んでいく必要があります。本提言書では、その取り組みについて「駅や駅周辺のまちづくり」、「道路・交通」、「みどり・水・地域の資源」、「商業環境と暮らし(アメニティ)」、「災害に強いまちづくり」の5つの視点からアイデアを提言します。今後は、「テーマ別まちづくりの方針」を具体的に進め「まちの将来像」の実現に向けて努めていく必要があります。

また、地区のまちづくり推進にあたっては、西武新宿線沿線各駅のまちづくりとの連携を図りつつ、まちづくりの骨格となる事業（西武新宿線の立体化、都市計画道路の整備等）の進捗状況を見据えながら、効果的と考えられる取組みを選定し、各主体相互の連携・協働・協調を進めて、事業の促進や事業効果の最大化に努めることが望まれます。

沿線各地区の取り組みとの連携



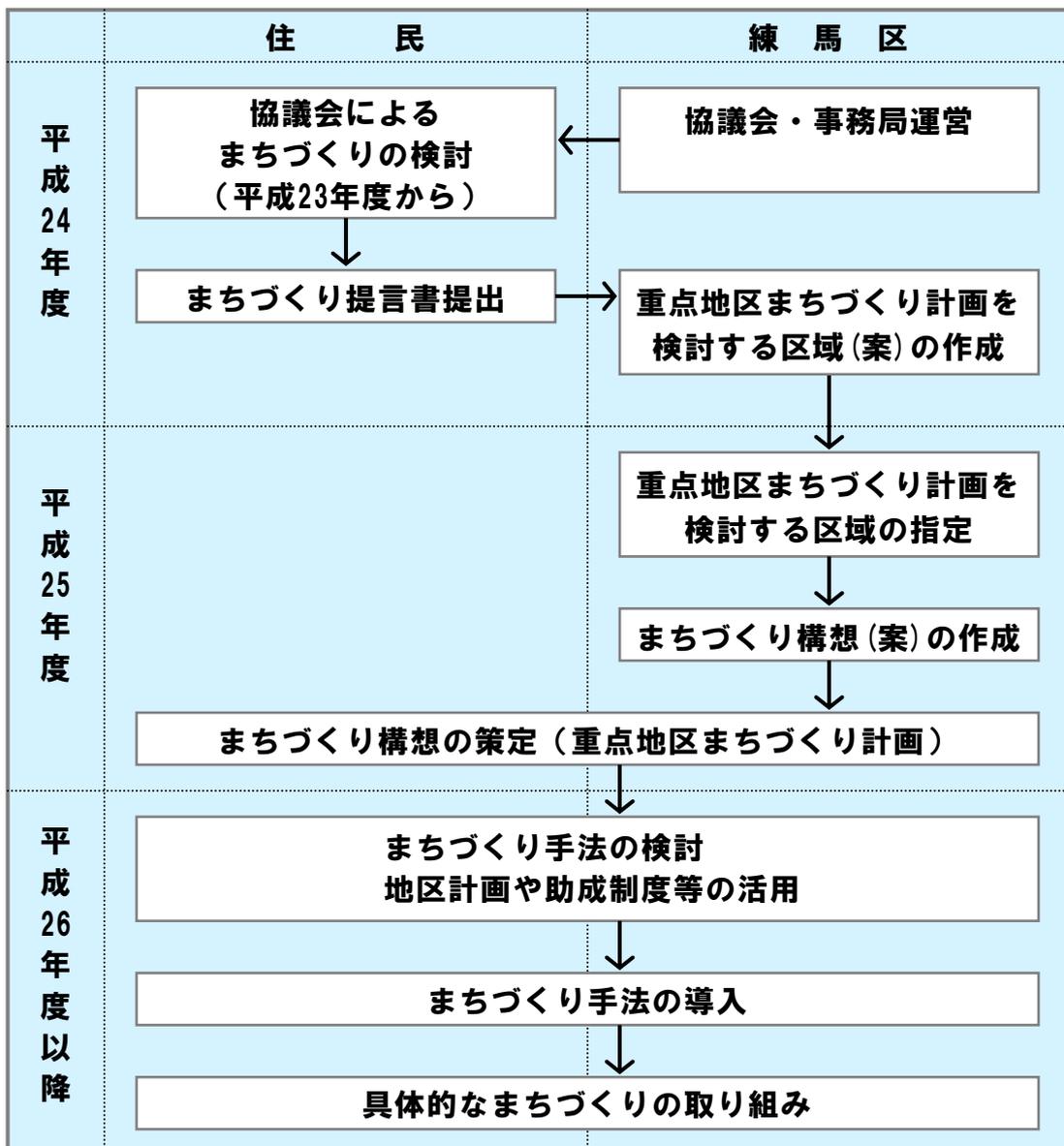
6. 今後のまちづくりの進め方

練馬区では、提言書を基にまちづくりの検討区域を定め、まちづくり構想（重点地区まちづくり計画）を策定するものと聞いています。

提言書の提出は一つの節目ではありますが、これからが当地区のまちづくりのスタートと考えます。

より良いまちづくりの実現には、行政や事業者だけでなく、私たち住民が主体となって継続してまちづくりを推進していく必要があります。

協議会では、今後とも地域の皆様のご協力をいただきながら、そして西武新宿線沿線の各駅周辺のまちづくり協議会とも連携を図りながら、安心して末永く住み続けられるまちを作っていくよう取り組んでいきます。



Ⅲ. まちづくり協議会の活動経緯

1. まちづくり協議会の活動経緯

◆まちづくり協議会

回	日時・場所	主な内容
1	平成23年5月23日（月） 午後7時00分～8時30分 下石神井地区区民館大広間	○まちづくり協議会会員名簿について ○これまでの経過及び協議会設立の目的について ○検討する「まちづくり提案」の内容について ○まちづくり協議会会則と運営委員選出について ○平成23年度の取り組みスケジュール（案）について
2	平成23年6月14日（火） 午後7時00分～9時30分 下石神井地区区民館大広間	○まちづくり協議会設立に至る経緯について ○まちづくり協議会会員の自己紹介 ○まちづくり協議会会則について ○運営委員の選出について ○連続立体交差事業に関する基礎学習
3	平成23年7月11日（月） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館大広間	○協議会会則（確定版）の確認 ○運営委員の選出 ○年間プログラムの見直しについて ○練馬区でのまちづくりに関するこれまでの取り組みについて
4	平成23年8月9日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館大広間	○第1回運営委員会の報告 ○協議会会則（変更版）の確認 ○役員選出の報告 ○対象地区の現状と課題（その1） ○現状と課題に関するグループ討議 ○アンケート調査の実施計画（案）について ○ニュース創刊号の原稿（案）について
5	平成23年9月6日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館レクルーム	○対象地区の現状と課題（その2） ○現状と課題に関するグループ討議 ○アンケート調査の実施計画（案）について ○ニュース創刊号の発行について
6	平成23年10月15日（土） 午前10時00分～12時15分 下石神井小学校家庭科室	○本地区の課題等について ○まち歩き
7	平成23年11月8日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館大広間	○第2回運営委員会の報告 ○地区の位置づけや現況について ○これまでの討議での指摘などの振り返り ○まち歩きで分かった問題点などについて ○問題点・課題のまとめ（案）について ○アンケート結果について
8	平成23年12月13日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館レクルーム	○第3回運営委員会の報告 ○アンケート調査の結果の報告 ○問題点・課題のまとめ（案）について

回	日時・場所	主な内容
9	平成24年1月22日（日） 午前9時30分～12時00分 石神井庁舎5階第6会議室	○石神井公園駅周辺地区の概要について ○石神井公園駅周辺地区での取り組み（見学） ○その他の地区での取り組みについて （※杉並協議会会員も一緒に参加）
10	平成24年2月14日（火） 午後7時00分～8時30分 下石神井地区区民館大広間	○武蔵関駅周辺地区まちづくりフォーラム・オープンハウスについて ○第1回勉強会「千川上水について」の報告 ○検討するまちづくり提案について ○まちづくりニュース第2号について ○まちづくりの手法－地区計画制度－について
11	平成24年3月13日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館大広間	○杉並区・練馬区各協議会役員の顔合わせの報告 ○武蔵関駅周辺地区まちづくりフォーラム・オープンハウスの報告 ○第2回勉強会「千川上水について」の報告 ○商業環境調査の報告 ○検討するまちづくり提案のテーマについて ○まちづくりニュース第2号について
12	平成24年5月8日（火） 午後7時00分～9時15分 下石神井地区区民館大広間	○検討するまちづくり提案のテーマについて
13	平成24年6月13日（水） 午後7時00分～9時15分 下石神井地区区民館大広間	○第4回運営委員会の報告 ○協議会、運営委員会、事務局のそれぞれの役割について ○平成24年度のまちづくり協議会の進め方について ○提言の内容について ○検討するまちづくり提案のテーマについて ○杉並区の協議会によるまち歩きの報告 ○その他の報告
14	平成24年7月10日（火） 午後7時00分～8時50分 下石神井地区区民館大広間	○「いなげや」の出店計画について ○第5回運営委員会の報告 ○防災井戸について ○検討するまちづくり提言のテーマについて ○本日の話し合いのテーマ「地区の将来像」 ○まちづくりニュース第3号について
15	平成24年9月11日（火） 午後7時00分～8時50分 下石神井地区区民館大広間	○第6回運営委員会の報告 ○まちづくり協議会・杉並協議会役員との顔合わせ会の報告 ○検討するまちづくり提言のテーマと検討の進め方について ○『提言書』の構成と検討内容の『提言書』への反映方法について ○地区の将来像（案）について ○本日の検討テーマ『道路・交通環境』 ○まちづくりニュース第3号について

回	日時・場所	主な内容
16	平成24年10月9日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館大広間	○第7回運営委員会の報告 ○杉並協議会部会への参加について ○今後のスケジュール（修正案）について ○第15回まちづくり協議会の内容確認 ○本日の検討テーマ『みどり・水・地域の資源』 ○ニュース第3号での意見募集の結果について
17	平成24年11月13日（火） 午後7時00分～9時15分 下石神井地区区民館大広間	○第8回運営委員会の報告 ○杉並協議会部会（10月27日開催）への参加の報告 ○今後のスケジュール（修正案）について ○これからの協議会の進め方について ○前回までのまちづくり協議会での検討内容の修正案について ○本日の検討テーマ 『商業環境』と『災害に強いまちづくり』 ○ニュース第3号での意見募集の結果について ○(仮称)井草通りの名称について
18	平成24年12月11日（火） 午後7時00分～9時10分 下石神井地区区民館大広間	○第9回運営委員会の報告 ○第2回杉並協議会部会（11月17日開催）への参加の報告 ○今後のスケジュールについて（確認） ○説明会の開催について ○第17回まちづくり協議会の内容確認 ○前回までのまちづくり協議会での検討内容の修正案について ○まちづくり提言書とりまとめについて ○本日の検討テーマ 『駅・駅周辺の整備』
19	平成25年1月15日（火） 午後7時00分～9時15分 下石神井地区区民館大広間	○第10回運営委員会の報告 ○第3回杉並協議会部会（12月15日開催）への参加の報告 ○説明会の開催について ○『提言書』の5テーマの検討内容修正案について ○説明会開催案内(案)とまちづくり提言書(案)【概要版】について ○まちづくりニュース第4号について
20	平成25年2月26日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館大広間	○提言書（案）の内容について
21	平成25年3月12日（火） 午後7時00分～ 時 分 下石神井地区区民館大広間	○提言書（案）の内容について
22	平成25年3月26日（火） 午後7時00分～ 時 分 下石神井地区区民館大広間	○提言書の練馬区への提出 ○まちづくりニュース第5号について

◆運営委員会

回	日時・場所	主な内容
1	平成23年7月25日（火） 午後7時00分～8時00分 下石神井地区区民館会議室	○運営委員の確認 ○役員の選出 ○協議会会員名簿の確認 ○当面の協議会の進め方について
2	平成23年9月26日（火） 午後7時00分～8時00分 下石神井地区区民館会議室	○当面の協議会の流れ ○第6回協議会「まち歩き」の実施について ○アンケート調査の実施について
3	平成23年12月8日（木） 午後7時～8時00分 下石神井地区区民館会議室	○今後の協議会の予定 ○第9回協議会「先進事例見学会」の実施について ○アンケート調査の集計結果について
4	平成24年5月24日（木） 午後7時～9時00分 下石神井地区区民館会議室	○協議会、運営委員会、事務局のそれぞれの役割について ○平成24年度のまちづくり協議会の進め方について ○提言の内容について
5	平成24年6月26日（火） 午後7時～8時30分 下石神井地区区民館会議室	○検討するまちづくり提言について ○今後の進め方について ○ニュースの発行について
6	平成24年8月9日（木） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館会議室	○検討するまちづくり提言のテーマについて ○まちづくりニュース第3号の内容について
7	平成24年9月24日（月） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館会議室	○今後のスケジュール（修正案）について ○杉並区部会への参加について ○まちづくり提言書（案）の地元意向調査方法について ○『道路・交通環境』に関する提案の加筆・修正について ○ニュース第3号での意見募集結果について
8	平成24年10月23日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館会議室	○協議会の進め方等に関する協議開催時刻 ○杉並区部会への参加について ○第16回まちづくり協議会の検討テーマの修正案 ○第17回まちづくり協議会での検討テーマ ○ニュース第3号での意見募集の結果
9	平成24年11月27日（火） 午後7時30分～9時00分 下石神井地区区民館会議室	○協議会の進め方等に関する報告と協議 ○杉並区部会への参加について ○第17回まちづくり協議会の検討テーマの修正案 ○第18回まちづくり協議会での検討テーマ ○まちづくり提言書の作成イメージについて

回	日時・場所	主な内容
10	平成24年12月25日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館会議室	○第3回杉並区部会（12月15日開催）への参加の報告 ○説明会の開催について ○前回までのまちづくり協議会での検討内容の修正案について ○まちづくり提言書(案)【概要版】とポスター(案)について
11	平成25年1月22日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館大広間	○まちづくりニュース第4号（≡提言書【概要版】(案)）について ○説明会の開催について
12	平成25年2月12日（火） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館会議室	○説明会開催結果と提言書への反映について ○説明会参加者アンケートの内容と提言書への反映について ○まちづくり提言書(案)の構成イメージについて

◆まちづくり提言書（案）に関する説明会

日時・場所	主な内容
平成25年2月1日（金） 午後6時30分～8時40分 下石神井小学校多目的室	○まちづくり提言書（案）の説明と意見交換 ○まちづくり資料の展示
平成25年2月2日（土） 午後1時30分～4時30分 下石神井小学校多目的室	

◆千川上水に関する勉強会

回	日時・場所	主な内容
1	平成24年1月12日（木） 午後7時00分～9時00分 下石神井地区区民館会議室	○千川上水についてのこれまでの経緯について ○上位計画について ○水源の状況について
2	平成24年2月28日（火） 午後7時00分～9時10分 下石神井地区区民館会議室	○上水整備に必要な空間の確保について ○道路整備に必要な空間の確保について ○沿道土地利用の確認 ○上水の整備方法について
3	平成24年7月26日（木） 午後7時00分～8時30分 下石神井地区区民館会議室	○これまでの勉強会のふりかえり ○上水の整備について（協議会への報告内容）

◆杉並協議会と連携した活動

回	日時・場所	主な内容
準備	平成24年8月31日（金） 午後7時00分～9時00分 杉並区四宮区民集会所	○杉並区、練馬区の協議会役員の顔合わせ ○合同検討会議の開催について
1	平成24年10月27日（土） 午後2時00分～4時00分 三谷小学校 多目的室	○課題に対する基本的な考え方について ○西武新宿線の連続立体化について
2	平成24年11月17日（土） 午後2時00分～4時20分 三谷小学校 多目的室	○連続立体交差事業の事例紹介 ○まちづくり構想の話し合い（グループ討議） ○グループ検討の整理
3	平成24年12月15日（土） 午後2時00分～4時40分 三谷小学校 多目的室	○まちづくり構想（骨子）案について ○まちづくりのキャッチフレーズについて

※ここに示したものは杉並協議会活動に協議会メンバーが参加したもので、協議会の活動に杉並協議会メンバーが参加したものもあります。

（P.26の協議会第9回の欄参照）

◆地域への情報発信（まちづくりニュースの発行）

号	時期	主な内容	配布等について
第1号	平成23年 8月	○協議会の取り組み（平成23年度の予定） ○会員の皆さんのまちづくりへの参加の思い ○西武新宿線沿線のまちづくり	まちづくりニュースは地区内の全住宅、店舗、事務所に投函配布に加えて、各町会や商店会への回覧等や上井草駅や周辺の公共施設に置き、多くの人にご覧頂けるようにしました
第2号	平成24年 3月	○グループ討議やまち歩きで把握した地区の状況の報告 ○アンケート調査結果の報告 ○石神井公園駅周辺地区の見学会の報告	
第3号	平成24年 8月	○今後まちづくり協議会で検討する「まちづくりのテーマ」について ○地区のまちづくりに関する意見募集 ○今後の協議会の予定	
第4号	平成25年 1月	○まちづくり提言書（案）説明会の開催について ○上井草駅周辺地区とまちづくり協議会について ○まちづくり提言（案）について ○今後のまちづくりの進め方について	
第5号	平成25年 3月	○まちづくり提言書の練馬区への提出について	